

- 問1 関東地方の各都県を比較した統計において、面積が約2416平方キロメートル、人口密度が1平方キロメートルあたり3800人を超え、さらに製造品出荷額等が約18兆円に達する工業都市としての側面を持つ県はどこですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 神奈川県 2. 茨城県 3. 群馬県 4. 東京都
- 
- 問2 神奈川県鎌倉市の北鎌倉駅から鎌倉駅方面へ向かうルート上にある「亀ヶ谷坂切通」周辺の地形を調査しました。地形図の等高線を読み取ったところ、出発地点である北鎌倉駅付近の標高は約50m、道の中央にある切通の部分は約70m、その先の居住地が広がる地点は約50mであることが分かりました。このルートの標高の変化を示した断面図の形状として、最も適切な説明を選択してください。 (2023年 東京都公立入試 類似)
1. 出発地点から中央部を経て終点まで、標高が一定の割合で上昇し続ける傾斜の形状 2. 出発地点から中央部にかけて標高が下がり、中央部を底として再び標高が上がる凹型の形状 3. 出発地点から中央部を経て終点まで、標高がほとんど変化せずに平坦な状態が続く形状 4. 出発地点から中央部にかけて標高が上がり、中央部を頂点として再び標高が下がる凸型の形状
- 
- 問3 関東地方のある県の農業産出額の統計において、米の産出額が約400億円であるのに対し、野菜の産出額は約840億円、花きの産出額は約140億円と、野菜や花きの割合が非常に高くなっています。ネギやほうれん草などの生産が盛んな、この統計が示す県はどこですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. 群馬県 2. 千葉県 3. 茨城県 4. 栃木県
- 
- 問4 関東地方に位置する群馬県の農業において、統計上の農業産出額で野菜や畜産の占める割合がコメに比べて非常に高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
1. 冷涼な気候を活かした稲作が中心であり、他の関東地方の県に比べてコメのブランド化による収益が野菜を上回っているため 2. 高速道路網などを活用して、近隣の大消費地へ鮮度の高い野菜や畜産物を供給する近郊農業や輸送園芸農業が発達しているため 3. 土地が痩せていて稲作が全く不可能なため、県内の全ての農地を牧草地やビニールハウスに転換し、畜産と野菜のみを生産しているため 4. 広大な平野部を利用した大規模な機械化によって、輸出を目的とした小麦やコメの生産に特化した農作業が行われているため
- 
- 問5 2021年の農業統計において、千葉県は農業産出額が3,853億円にのぼり、全国でも有数の農業県となっています。この県で、農業産出額のうち野菜と畜産の合計が全体の約3分の2を占めている理由として、地理的な背景をふまえて説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
1. 巨大な消費地である首都圏に近く、輸送コストを抑えながら鮮度が求められる野菜や畜産物を出荷できるため。 2. 黒潮の影響による温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどを用いて野菜の収穫時期を早めているため。 3. 傾斜の多い地形を活かして、水はけの良さを必要とする果樹栽培が古くから地域の主産業となっているため。 4. 広大な十勝平野のような平坦地を活かして、機械化による大規模な畑作や酪農が展開されているため。
- 
- 問6 甲州街道のような旧街道沿いにおいて、道路の左右に商店が立ち並び独特の街並みが形成された歴史的な背景と理由について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 河川の氾濫から建物を守るために、標高の高い自然堤防の上に商業施設を集中させたため。 2. 大規模な工場が建設され、そこで働く労働者のための社宅と購買部が街道沿いに配置されたため。 3. 都市計画によって、山間部を切り拓いて大型ショッピングモールを建設し、周辺を住宅地としたため。 4. 参勤交代などの往来が増えたことで、旅人の休憩や宿泊、物資の売買を行う拠点が必要となったため。
- 
- 問7 関東地方の各県における工業統計を示した資料において、栃木県の状況を説明した記述として最も適切なものはどれか。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)
1. 京浜工業地帯の中核として、金属工業や印刷・製本業の出荷額が全国で最も高い水準にある。 2. 北関東工業地域に位置し、2019年時点の統計でも電気機械器具の出荷額が輸送用機械器具と同等の高い数値を示している。 3. 京葉工業地域に含まれ、出荷額の大部分を鉄鋼業と石油化学工業が占める典型的な臨海型工業の構造を持つ。 4. 北関東の内陸部に位置しているが、原材料の輸入に依存するため、鉄鋼業が電気機械器具を上回る主要産業となっている。
- 
- 問8 東京都の昼間人口比率が100を大きく超え、全国で最も高い数値を示す背景には、どのような都市構造や社会現象が関係していますか。周辺の県との関わりを踏まえた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 都心部に広大な農業用地が確保され、周辺県から季節労働者が大量に流入するようになったため 2. 周辺県の産業が衰退したことにより、すべての住民が東京都内に移住して夜間人口が急増したため 3. 東京都の夜間人口が周辺県に比べて急激に減少したことで、相対的に昼間の活動人口が目立つようになったため 4. 都心部の地価高騰などの影響で郊外に住宅地（ベッドタウン）が形成され、職住分離が進んだため
- 
- 問9 千葉県の東京湾沿岸に広がる工業地域では、製造品出荷額の内訳において化学が約22.5%、石油・石炭製品が約19.8%、鉄鋼が約14.5%を占めるなど、重化学工業の割合が非常に高いという特徴があります。この工業地域の名称を答えなさい。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 鹿島臨海工業地域 2. 京葉工業地域 3. 京浜工業地帯 4. 中京工業地帯
- 
- 問10 群馬県などの北関東や東海地方の工業都市では、南アメリカ出身の在留外国人が多く生活しています。これらの地域で、公共施設の案内板や広報誌が「日本語」と「ポルトガル語」で併記されている主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
1. 経済連携協定（EPA）に基づき、看護師や介護福祉士の国家資格取得を目指す東南アジア出身者が急増したため。 2. 高度経済成長期に、石炭から石油へのエネルギー革命の影響で失業した海外の炭鉱労働者を積極的に受け入れたため。 3. 技能実習制度の拡充により、農業や漁業の技術を習得するために南アメリカ諸国から多くの若者が来日したため。 4. 1990年の入管法改正によって就労制限のない日系人の受け入れが始まり、ブラジルからの労働者が工業地域に定住したため。
- 
- 問11 1997年に開通した東京湾アクアラインは、日本が国際的な環境問題の解決に向けて主導的な役割を果たした時期と重なっています。この時期に日本で開催された、地球温暖化対策に関する国際会議の名称として適切なものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 環境庁設置に関する閣僚会議 2. 地球温暖化防止京都会議（COP3） 3. 所得倍増計画策定会議 4. サンフランシスコ平和条約締結会議
- 
- 問12 東京23区への通勤・通学者の交通手段について、鉄道利用率が全国平均の2倍以上という極めて高い水準にある現状を踏まえ、大規模災害時に「帰宅困難者」が大きな社会問題となる理由として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 都市部への流入人口が年々減少しており、災害時に救助活動を行う人手が不足するため 2. 多くの人々が居住地から離れた場所に集まっており、鉄道の停止によって長距離の移動手段を失うため 3. 自家用車を利用して通勤・通学者が多いため、道路が渋滞して救急車両の通行を妨げるため 4. 郊外の公共交通機関が発達していないため、避難所から自宅へ戻る方法がなくなるため